

精華町教育委員会会議 議事録

令和5年（第10回）

1 開 会 令和5年10月30日(火) 午後3時30分
閉 会 令和5年10月30日(火) 午後4時00分

2 場 所 精華町役場 3階 301会議室

3 出席委員 川村教育長 松下教育長職務代理者 新司委員
井上委員 高岡委員

4 欠席委員 なし

5 出席事務局職員

浦本教育部長 有城総括指導主事
俵谷学校教育課長
糸山学校教育課担当課長(施設担当)
川畑学校教育課担当課長(学校給食担当)
田原生涯学習課長 平井学校教育課主幹

6 傍聴者 0名

7 議事の概要

(1) 開会及び冒頭あいさつ

教育長から第10回教育委員会会議の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から令和5年第9回教育委員会会議の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 教育長報告事項

10月1日、京都府立けいはんなホールでせいか文化フェスティバルが開催された。精華町内の各文化団体が順次ステージに立ち、日頃の練習の成果

を披露された。

10月15日の精華町長選挙で杉浦正省町長が再選された。2期目のスタートとなったが、杉浦町長が選挙戦にあたって幾つか公約とされたことで、教育に関する事項については、教育委員会としてしっかりと取り組んでいくことが責務と思っている。この点は、後ほど教育部長から内容について報告させていただく。

10月14日、山城総合運動公園で山城地方中学校駅伝競走大会があった。顕著な成績は残せなかったが、参加生徒が真剣に取り組む姿を見ることができた。

10月18日、町内唯一の私立高等学校である京都廣学館高等学校の体育大会の開会式に出席した。コロナ禍で正常な形での実施は4年ぶりとのことだったが、高校生たちは青空の下で競技に励んでいた。

10月19日、山城総合運動公園で私立幼稚園連盟の城南地区園児大会が開催された。京都府知事や山城広域振興局長のほか、宇治、城陽、京田辺の市長、そして、木津川、八幡、精華、宇治田原の教育長の出席があった。

10月20日には町内中学校の体育大会、翌21日には小学校の運動会が開催されたが、精華中学校はインフルエンザで学年閉鎖になっていたこともあり25日に順延しての開催となった。

なお、現在委員の皆さんには今年度の学校訪問を実施いただいているところであり、引き続きよろしくお願ひしたい。

(4) 事務局からの諸報告

教育部長 1 杉浦町政の第1期公約・第2期公約について

令和5年10月15日執行の精華町長選挙の結果、現職の杉浦町長が再選され、10月24日に2期目の初登庁をされた。

同日に臨時の部課長会議が開催され、幹部職員に対して就任の挨拶があった。

杉浦町長からは、1期目は新型コロナ対策に翻弄されたものの、1期目の選挙公約の1丁目1番地であった中学校給食の実施をはじめとして公約で約束したことは、職員の協力も得ておおむね実現できたのではないかと総括された。

2期目の町長選挙を戦うにあたって掲げた公約として、教育委員会に関わる内容としては、1点目が町立小中学校給食の完全無償化、2点目がICT教育、学校トイレ洋式化及び体育館空調整備の推進、そして3点目が防災受援施設との兼用ができるスポーツ施設の建設推進などである。

いずれも教育委員会の長年の懸案課題であり、多額の事業費を必要とする事業ばかりである。杉浦町長も財源を確保して実現させたいと表明されているので、今後4年間で町長部局と協議、調整を行いながら、計画的に一つ一つ課題解決に努めてまいりたいと考えている。

また、これらの事業計画の立案、そして進捗状況についても教育委員の皆さんに適宜ご報告する中で、ご意見も頂きながら進めていきたいと考えているので、引き続き、よろしくお願ひしたい。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

9月の問題事象は2件。

1件目は、小学3年生の児童が一方的に暴言を受けているという訴えが保護者からあり、双方の保護者を交えた話し合いを行った結果、双方の子どもの言い合いからトラブルに発展したものだということとで和解をしている。

2件目は、小学2年生の児童が友人に暴力をふるったという事象で、当該児童がうまく仲間の輪に入れずにイライラして殴り、けがをさせたというものだった。こちらも保護者と一緒に謝罪し、解決している。

不登校の児童数は20人。

(2) 中学校

9月の問題事象は2件。

2件とも内容は生徒間暴力で、ちょっかいをかけたり、茶化したりということから始まり、耐えられず暴力に発展したという事象だった。2件とも指導により互いの謝罪と保

護者を交えた対応が完了している。

不登校の生徒数は49人。

不登校については小中ともに昨年と同じような傾向であり、夏休み明けに増えている。ほとんどの家庭と連携は取れているが、保護者と連携をとることや、本人と会うことが難しい家庭もあるとの報告がある。

総括指導主事 2 重災害事故報告について

9月の重災害事故の報告はゼロ件。

総括指導主事 3 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について

暴力行為の件数は、1,000人当たりの数値となるが、小学校では、全国が9.9件、京都府が11.3件であるのに対して精華町では0.5件だった。中学校では、全国が9.2件、京都府が13.0件であるのに対して精華町は2.0件と低く、小中学校ともに年々減少している。

また、いじめの認知件数は全国、京都府と比較して小中学校ともに高い数値を示している。特に小学校は例年件数が高いが、これはいじめを初期の段階から積極的に認知して、その解消に向けた取組を進めている結果であり、解消率は90%以上である。

不登校の児童生徒については、全国、京都府より出現率は低いものの、中学校では令和3年度から増加しており、今年度も同じ傾向が見られ、夏休み以降にも増えている。

総括指導主事 4 令和5年度京都府学力・学習状況調査「学びのパスポート」の結果について

今年度からのスタートであり、経年での比較と分析については来年度からの実施になる。

京都府と精華町の実際の正答率の数値を見ると、小学4年

生から中学3年生までの国語、算数、数学、そして中学2、3年生の英語において、京都府平均より精華町の平均が高いという状況である。

生涯学習課長 1 行事の実施予定等について

1点目は、第45回少年の主張京都府大会の結果について。9月23日に京都市内で、公益社団法人京都府青少年育成協会の主催で京都府大会の審査があった。精華南中学校3年の川上香羽さんの「違いと共にあるために」という作文が、京都府公立中学校長会会長賞を受賞された。

2点目は、2023健康・スポーツ交流フェスティバルの開催について。11月5日にむくのきセンターで健康とスポーツのイベントを開催する。精華町スポーツ協会が主になって取り組む、従来の町民運動会が見直しによりリニューアルされたイベントだが、令和元年に1回目が開催された後、コロナ禍で期間が空き、今回は2回目の開催となる。

3点目は、子ども祭りの開催について。お知らせ済みではあるが、せいか祭りと同日の11月19日での開催となる。パンフレットは広報配布日に合わせて各戸配布予定である。

4点目は、図書館の文学講座の開催について。12月2日に役場交流ホールにおいて、京都府立大学の藤原英城先生を招いて「江戸時代 京都の出版文化ー雅びから俗へー」と題して講演いただく。本講座は町立図書館の主催事業として、年に1回開催しているもの。

(5) 後援関係

9月から10月にかけて受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数7件、すべてが生涯学習課関係で、内訳では社会教育課係の担当が6件、他1件が社会体育係の担当となっている。

(6) 11月の行事予定

1日、木津川市のアスピアやましろにおいて相楽地方中学校音楽交流

会が開催される。

5日、先ほど生涯学習課長からも報告があったとおり、むくのきセンターにおいて4年ぶりとなる健康・スポーツ交流フェスティバルを開催する。

19日、せいか祭り2023と第20回精華町子ども祭りを同時開催する。

委員の皆さんに参加をお願いするものでは、10月に続き町立小中学校の学校訪問、7日の近畿市町村教育委員会研修大会、13日の府内市町（組合）教育委員会研修会となる。

（7）閉会

教育長が第10回教育委員会の閉会を宣言。